

無題（故海野十三氏追悼諸家文集）

野村胡堂

青空文庫

「海野さんのものを全部読まして下さい」と言つて来た、若い電気学生があつた。それは私の知人の次男坊で、私の書いたものなどは、鼻であしらつて、一向感服した顔もしてくれないお点の辛い青年であつたが、海野君の作品にひどく傾倒して、私の持つてゐる海野十三氏著の幾十冊を悉く読破して、まだもの欲しそうな顔をしてゐるのであつた。

その青年は今もう立派な弱電気の学者になり、さる学校で教鞭を執つてゐるが、今でもなお海野君の愛読者たるに変わりはなく、海野君に満腔の好意を持つてゐることを私は知つてゐる。

海野君の強さは、斯こんなところにあつたと思う。あの作品に通

じている特色は、海野君の聡明さと、あの魂の美しさだ。

海野君の死は惜んでも惜み足りない。私も若くて親切な友人を喪つた^{うしな}悲しみに打ひしがれているが、それよりも海野君を喪つた、幾十万の読者の悲みと失望は容易ならぬことだろうと思う。

これは決して形容詞や誇張ではない。私と海野君の交りは極^{きわ}めて淡いものであったが、今となつて、もう少し繁^{しげしげ}々と往来して、海野君の良さに接して居るべきであつたという、大きな悔に悩んでいる。

青空文庫情報

底本：「野村胡堂探偵小説全集」作品社

2007（平成19）年4月15日第1刷発行

底本の親本：「探偵作家クラブ会報 二五号」

1949（昭和24）年6月

初出：「探偵作家クラブ会報 二五号」

1949（昭和24）年6月

入力：ばっちゃん

校正：阿部哲也

2014年1月2日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

無題（故海野十三氏追悼諸家文集）

野村胡堂

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>